

宮城県の離島、大島で海水浴場が復活しました

すけさきた 2012年芒種号で紹介した、宮城県登米市在住のMOKさんが行ってきました!



小田の浜海水浴場は、2006年に環境省が選定した「快水浴場百選」において、水質や環境の良さから、海の部特選(第二位)に輝いた実績があります。

復興している沿岸部に直接お金を落とせればな、と思って行っています。

海などまだまだ見れない方、海に対して苦しい思いをされている方はたくさんいらっしゃる中で、私が海に入ることは、本当に津波での苦しみを自分自身が体験してはいないからか、とは思っていますが、微力ながらも復興している沿岸部に直接お金を落とせればな、と思って行っています。

宮城県の離島、大島に行ってきました。震災後、初めて今年の夏、宮城県で唯一、小田の浜海水浴場がオープンしたので行ってきましたよ。南三陸の被害や、気仙沼の被害は、すーっとすーっとと続く沿岸部の被害は、まだまだ瓦礫が種類別に区分けされたままですが、少しずつ小さくても再開している商店が増えているのを見ると嬉しいね。海に入る前に、津波で犠牲になった魂に手を合わせ祈り、小田の浜海水浴場がオープンするまでに、全国から来たたくさんの方がボランティアで海の清掃してくれたことに感謝して海に入らせてもらいました。



気仙沼の観光キャラクター「ホヤボーヤ」がお出迎え『ホヤは海のバイナッブル!』だそうです



「東北に黒旗を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』しんぶん



「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である

震災前みたいに海を見てきれいだなと純粋に感動したり、海で遊んだりすることはできないなって思ってたけど、なんだかんだ、今日海に入って泳いでたら、やはり楽しい!もので、思い切り泳いで遊んだら、すっきりした! 海の浄化の力もあるんだろうし。

震災後にこうやって海水浴ができるようになるには多くのボランティアの人の力があってそのエネルギーにも力を感じて感謝感謝でございます。漁港から魚に出て行く漁師達の姿を見たら、たくましい姿に手を振って応援したくなるもんね。

海の家、トイレ、シャワー、更衣室もあって、ちゃんと海水浴場!→



去年一年は、目もあてられないような被害状況に海の写真など撮る気持ちもありませんでしたが、こうやって写真撮って楽しめたのもよかった。何がなんだか震災で過ぎ去った一年、去年よりは落ち着いているという証拠。



(傾いた灯台、仕分けられた建築廃材、壊れたままの桟橋などが今でも残っている)



みなさんにも、東北が少しでも美しいと目に写って頂けたら幸いです。(文・写真 …MOK)



ふりかえり企画

RQ活動年表

農業や漁業などに従事してきた女性達にとって、避難所や仮設住宅で、何もすることがない生活は、とても辛いものでした。日常へ戻る第一歩として、今やRQWの顔でもある「アクリルたわし」制作と、販売にむけての準備が、この時期に始まりました。

生活再建支援 (以降現在に至る) ↓

- 8/20 小泉・本吉福祉祭りに企画、運営で参加 RQW手作り講座開催(エコたわしスタート!)
- 8/22 RQバス『くりこま号』が石越駅経由追加
- 8/27 第三回親子キャンプ
- 9/1 地元の人に拠点を解放する「とめっこ」スタート
- 9/2 河北VC仮設住宅での足湯サービス開始

